

下田まち遺産のある風景。

穏やかな早春の風を感じながら、下田公園とペリーロードを散策。

いくつもの史跡が残る下田公園周辺地域。こちらには下田まち遺産が複数認定されています。今回も下田まち遺産担当・小川がご案内します。



03



04



開国広場にある開国記念碑



05



樹齢400年のクスノキの大木



蓮杖のトレードマークの杖だけ飛び出しています！

6月には綺麗なあじさいが咲きます



01 しもだこうえん 下田公園

小高い丘の上にあり、各所には展望台が設けられています。また、春にはツツジ、初夏にはアジサイ、冬にはツバキが咲くため、四季を通じて園内を散策するのに適した公園となっています。また、天正16年(1588年)に小田原北条氏により南伊豆の防衛拠点として整備された山城でもあります。現在でも当時の空堀が残っており、下田城址として戦国ロマンが宿る場所であると同時に、開国記念碑や下岡蓮杖記念碑などもあり、下田の歴史を凝縮した場所といえます。



02 しもだこうえんあじさい 下田公園 あじさい

下田公園には15万株ものアジサイが植えられています。6月にはあじさい祭りが開催され、大きくて丸いアジサイの花たちが、曲がりくねった小径に両脇から覆うように咲き誇ります。満開の時期には300万輪のアジサイが一斉に咲き乱れ、360度をアジサイに囲まれる様子は、さながら虹に周りを囲まれたかのような見事な景観を形成します。

03 しもだこうえんかいこくひろばからの眺望 下田公園開国ひろばからの眺望

下田公園の中腹にある開国広場の展望台からは、下田港を一望することができます。稲生沢川のゆったりとした流れが海に注ぐ様や、規則正しく停泊する白い船舶、山々の変化に富んだ稜線、そして水際に寄り添って広がる町並みは、下田が古来より海とともに生きてきたことを感じさせます。公園を散歩した時には是非、展望台からの美しい下田の景観をご覧ください。

04 しもあかれんじょうきわんひ 下岡蓮杖記念碑

「日本商業写真の祖」と称される下岡蓮杖は下田生まれです。若くして江戸へ行き、画家を目指しましたが、初めて銀板写真を見た際にその精巧さに感激し、写真術の習得を志すこととなりました。そして困難を乗り越え、私財を費やして、ついに日本初の写真館を横浜に開業しました。蓮杖翁の日本の写真術発展に尽くした功績を顕彰するため昭和3年に建立されたのが、下岡蓮杖記念碑です。

05 しだごうらてんぼうだいからの眺望 志太ヶ浦展望台からの眺望

志太ヶ浦展望台にはベンチが2脚並んでいます。ベンチに座ると、眼下に広がる太平洋の先に種子元島を望むことができます。左手には下田らしい入り組んだ海岸線と、和歌の浦遊歩道がアクセントを加えています。森林浴も楽しめますので、ゆったりとした時間をお楽しみください。



10 11 は5・6ページで紹介

06 ベリー上陸記念碑

嘉永7年(1854年)、下田にペリー艦隊が上陸し、その場所を記念して建てられたのがペリー上陸記念碑です。上陸を記念した碑ではありますが、この胸像の顔からは、アメリカへ帰国する際の条約締結にこぎつけた安堵感なのか、実に穏やかな表情が見受けられます。また、記念碑のあるペリー上陸記念公園は、平成17年度静岡県都市景観賞の優秀賞を受賞しており、記念碑からは下田富士や下田港を含む、美しい眺めを得ることができます。

07 長楽寺

弘治元年(1555年)に創建された真言宗の寺院です。幕末期に来港したロシア使節ブチャーチンとの関わりが深く、安政元年(1854年)12月21日(新暦2月7日)には日露和親条約がここで締結された下田市指定史跡です。条約で日露国境の取決めが行われたことにちなみ、長楽寺は、毎年2月7日の北方領土の日に行われる史跡めぐりマラソンのスタート・ゴール地点となっています。下田での開国の歴史を語るうえで欠かすことができない寺院の一つです。

08 草画房(登録まち遺産)

ペリーロードは、懐かしい下田の情景を今に伝える人気の場所ですが、その中でもひととき目を引くのが草画房です。大正3年に建てられたという2階建の主屋は良材を用いた趣ある建物で、重厚ながら明るい色彩を放つ伊豆石造りの蔵とあわせ独特の景観を見せています。蔵の2階にあるアーチ状の窓が特徴的で、ペリーロードを訪れる者は足を止めることでしょう。



08



ペリーロードから長楽寺へ



06



07

長楽寺下の工房にて修理中の太鼓台に偶然遭遇



小川のオススメ 下田公園 椿園



下田公園内にある椿園には約200種類のツバキが咲いています。それぞれに名前が看板で付いていて、それを読むだけでも楽しいです。



今年の黒船祭にて植樹式！

09 しもだこうえん はなみずきと記念碑 下田公園 ハナミズキと記念碑

大正元年(1912年)、日本からアメリカへサクラの苗木を3000本寄贈し、その返礼としてハナミズキを寄贈されたのがきっかけで、ハナミズキは日米友好の象徴とされています。下田公園内には、カーター元アメリカ大統領の来日を記念した碑があり、その横にはハナミズキが植えられています。今年は、アメリカから100本のハナミズキが友好の証として下田市に寄贈され、そのうち下田公園に植樹された1本は、黒船祭中に植樹式が予定されています。



(右写真)1984年の黒船祭で植樹されたハナミズキ(左写真)カーター元アメリカ大統領来日記念碑とハナミズキ